

■ご使用上の注意

- この製品は室内または屋内用です。屋外や水のかかる所などでは使用しないでください。サビや故障、変色の原因になります。
- この製品を設置されるときは、家具本体が水平を保つように調整を行ってください。水平が保たれないまま設置されると、後日本体のゆがみや可動部の作動不良、施錠不良などご利用の際に支障をきたす恐れがあります。
- この製品を第三者に貸したり、譲渡される場合は、この取扱説明書を必ず添付し、取り扱い方法を充分に説明してください。
- 直射日光や暖房器具の熱が直接当たる場所や湿気および乾燥の著しいところでの使用は避けてください。変色や変形の原因になります。
- 天板に熱いものを直接置かないでください。跡が残ることがあります。
- 天板の上に水などをこぼした場合は、速やかに拭き取ってください。放置しておくと、天板面が膨れたり、破損することがあります。

■保証について

お使いの製品が取扱説明書、本体記載の注意ラベル等による正常なご使用状態のもとで不具合が発生した場合、下記の保証期間をご参照のうえ、お買上げの販売店までご連絡ください。

●保証期間

保証期間は（一社）日本オフィス家具協会のガイドラインに準拠して、お買上げの日から右記の年限とさせていただきます。

1年	外観・表面仕上げ	塗装及び樹脂部品の変・褪色、レザー・クロスの摩耗
2年	機構部・可動部	引出し・スライド機構・扉の開閉・錠前・昇降機構の故障
3年	構造体	強度・構造体に係わる破損

●保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。

- ・火災、天災による故障または破損。
- ・改造や不当な修理または使用者の責任に帰すると認められる故障または損傷。

●保証期間外の修理につきましては、その機能が維持出来る場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。

■お問い合わせ先

製品に関するご質問は、各製品の天板裏や本体内に貼付けしたシールの品番・製造番号をご確認のうえ 購入店または下記のお問い合わせ先にお寄せください。

お問い合わせ先／TEL (06) - 6901 - 5551

JOIFA 611 この番号は、一般社団法人日本オフィス家具協会（JOIFA）における会員登録番号です。オフィス家具の資源・廃棄問題・リサイクル・P.L問題など商品が社会に負う責任体制として、番号を表示しています。

ダイシン工業株式会社

本社 〒570-0011 大阪府守口市金田町 3-60-15 TEL : (06)6901-5551
<http://www.daishinkogyo.co.jp/>

■主要部品の材質

部品名	材質	
本体	スチール	
引手	ABS樹脂	
ラッチ爪(両開型)	ポリカーボネート樹脂	
ラッチ爪(引出し型)	ポリアセタール樹脂	
ラッチ爪(引戸型・3枚引戸型)	ポリアセタール樹脂	
引戸レール	ABS樹脂	
トレー	ポリスチレン樹脂	
トレー用レール	ABS樹脂	
アクリル窓(窓付タイプ)	アクリル樹脂	
木天板	芯材 表面材 縁材	パーティクルボード メラミン化粧板 ABS樹脂

■JOIFA標準使用期間について

消費者生活用製品安全法が改正され特定の製品には「設計標準使用期間」の表示が義務づけられました。オフィス家具は対象ではありませんがJOIFAでは経年劣化による事故を防止し安全にお使いいただくため「JOIFA標準使用期間」を設定しました。該当製品には構造部分の経年劣化が予想される年数をラベルで表示し注意喚起しますのでご理解いただきますようお願い申し上げます。

DSK

保存用

取扱説明書

システム収納家具 バリアス・シスト

Various Syst

このたびは、本製品をお買上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、この説明書は紛失しないように、大切に保管してください。



■安全にお使いいただくために



この注意事項を守らなければ、死亡または重傷を負う可能性があります。

- 廃棄する時は専門業者にお任せください。焼却すると有毒ガスが発生することがあります。
- 引出しへは上段にだけ収納しないでください。引き出した時に倒れけがをすることがあります。
- 引出しへは手前にだけ収納しないでください。引き出した時に倒れけがをすることがあります。
- 引出しへは一段ずつ引き出してください。複数の引出しへを同時に引き出すと、倒れてきてけがをすることがあります。
- 指定以外の積み重ねをしないでください。倒れてきてけがをすることがあります。

■安全にお使いいただくために

△ 注意

この注意事項を守らなければ、傷害または物的損害が発生する可能性があります。

- 引き出した引出しに手などで力を加えないでください。倒れてきてけがをすることがあります。
- 本体や引出しの上に乗らないでください。転倒してけがをすることがあります。
- 手を引出しのまわりにつけたまま開閉しないでください。手をはさんでけがをすることがあります。
- 可動部のすき間に手を入れないでください。けがをすることがあります。
- 上段を開けたままで下段の作業をしないでください。立ち上がった時に上段に当り、けがをすることがあります。
- 貴重品を入れないでください。錠前を破壊されて盗まれることがあります。
- 鍵を差し込んだまま使用しないでください。けがや衣服の損傷の原因になります。
- 施錠状態のまま閉めたり、無理に引き出したりしないでください。故障の原因になります。
- 分解や改造をしないでください。破損やけがをすることがあります。
- 乱暴な取り扱いや、用途以外には使用しないでください。故障や破損、事故の原因になります。
- 製品に貼ってある表示シールは絶対にはがさないでください。誤った使い方や事故を防止するためのものです。
- ボルトやねじのゆるみによるガタツキが生じたときは、はやめに締め直してください。ゆるんだままで使うと、本体の破損や転倒などでけがをすることがあります。
- 異常を発見したまま使わないでください。本体の破損により、けがをすることがあります。
- 火のそばに近づけて使用しないでください。火災になることがあります。
- 危険物（壊れ物、薬品など）を収納しないでください。人体や衣服などを傷つけることがあります。
- 耐荷重以上に収納しないでください。棚板や引出しが落下してけがをすることがあります。
(別表をご参照ください)
- 天板に耐荷重以上の物を載せないでください。
天板のたわみによって落下することがあります。
(別表をご参照ください)

●耐荷重（均等荷重）

部 位	耐荷重（均等荷重）
棚板（W450×D400 用）	21kg
棚板（W450×D450 用）	24kg
棚板（W800×D400 用）	38kg
棚板（W800×D450 用）	44kg
棚板（W900×D310 用）	31kg
棚板（W900×D400 用）	43kg
棚板（W900×D450 用）	50kg
棚板（W900×D500 用）	56kg
棚板（W1200×D450 用）	50kg
棚板（雑誌架用）	50kg
棚板（メール・パーソナルロック型 W900×D450）	26kg
棚板（メール・パーソナルロック型 W1200×D450・W900×D400）	23kg
棚板（PC 収納型一括収納用）	30kg
棚板（リサイクルボックス型左用）	35kg
棚板（メールボックス用）	16kg
棚板（三角コーナー用）	5kg
引出し（W900・W800 用）	50kg
引出し（W450 用）	25kg
トレー浅型（B4 用紙用）	1.5kg
トレー深型（B4 用紙用）	3kg
トレー浅型（A4 用紙用）	1kg
トレー深型（A4 用紙用）	2kg
ハンガーパイプ（ハンガーパイプ棚板 W900 用）	20kg
ハンガーパイプ（ハンガーパイプ棚板 W450 用）	10kg
引出しユニット天板（キッチン型）	20kg
スライドテーブル（キッチン型）	5kg
カルテ棚	50kg
レントゲンフィルム棚	100kg
カウンターテーブル	100kg
天板（W450×D450 本体）	24kg
天板（W800×D400 本体）	38kg
天板（W800×D450 本体）	44kg
天板（W900×D310 本体）	31kg
天板（W900×D400 本体）	43kg
天板（W900・W1200×D450 本体）	50kg
天板（W900×D500 本体）	56kg
作業天板（W900×D180）	24kg
作業天板（W900×D490）	50kg

■健やかな空気質の確保を目指して換気励行のお願い

ここに述べる注意事項は、使用者皆様の健康阻害を防ぐため、極めて重要です。

購入以後のご注意事項ですから、使用者の皆様に是非お守りいただくよう宜しくお願い申し上げます。

1. 製品購入時の注意事項

購入当初は、化学物質の発散が多いことがあります。暫くの間は、換気や通風を十分に行なうよう心掛けてください。室内の換気が十分に行われないと室内化学物質濃度が高まり、健康に影響を及ぼすことがあります。

2. 温度や湿度の変化による換気の励行

室内が著しく高温多湿となる場合（温度 28°C、相対湿度 50%超が目安）には、窓を閉め切らないようにするか、強制換気を行って下さい。室内化学物質濃度が高まり、健康に影響を及ぼすことがあります。

■ご使用方法

●鍵の使い方

- 鍵は右に 180 度回転すると施錠され、左に 180 度回転すると解錠します。
- 施錠・解錠状態を鍵の表示窓で色表示します。
※表示窓の位置が機種により異なる場合があります。

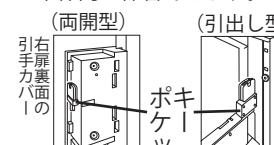
施錠状態 解錠状態



表示窓
(赤色) 表示窓
(青色)

●鍵の保管

鍵を使用しない場合は本体内に保管できます。



（引戸型・3枚引戸型）

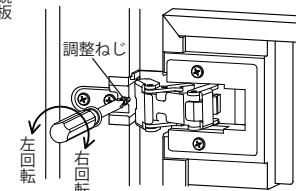
左扉内側前面部

キー ポケット

●扉の蝶番調整

ご使用中に扉の隙間やガタの微調整が必要になった場合は調整ねじを回すことにより、扉の傾きを調整できます。

- ・右回転 … 扉を内側へ調整
- ・左回転 … 扉を外側へ調整

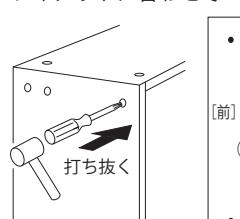


●本体の組立方法

※機種により組立方法が異なる場合があります。その場合は製品に添付された組立説明書をご確認ください。

①ハーフパンチの加工

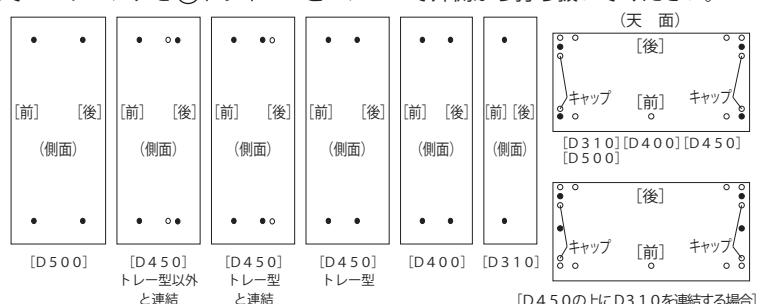
レイアウトに合わせてハーフパンチを + ドライバーとハンマーで外側から打ち抜いてください。



（右図）ハーフパンチ位置

○：ハーフパンチ

●：打ち抜き位置



（天面）

（後）

[D 310] [D 400] [D 450]

[D 500]

（後）

キャップ [前] キャップ

[D 450] 上に D 310 を連結する場合

※天板のハーフパンチは機種により少ない場合があります。

②ベースの設置

レイアウトに合わせてベースを置き、アジャスターを調整して、

レバーレベルを合わせてください。

※床固定する場合は、本体をのせる前にしてください。

六角レンチ（対辺 6 mm）

アジャスター

アジャスター